

第109期 第2四半期

株 主 通 信

2022年1月1日～2022年6月30日



株主の皆様へ

株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

当第2四半期における国内経済は、新型コロナウイルス感染症のワクチン接種の拡大等により行動制限が緩和されたため、景気は回復基調となりつつあったものの、エネルギー資源や原材料価格が高騰したほか、急激に円安が進行する等、厳しい状況が継続しました。世界経済においても、新型コロナウイルス感染症のワクチン接種が進んだこと等により行動規制や入国制限の撤廃等が進み、経済活動の回復が見られたものの、中国のゼロコロナ政策やロシアのウクライナ侵攻等、地政学リスクの顕在化により、サプライチェーンの混乱やインフレ懸念に加え、エネルギー資源や原材料価格の高騰等、先行き不透明な状況が続きました。

このような状況の中、連結売上高は前年同期比21.9%増の769億32百万円となりました。その結果、営業利益、経常利益及び親会社株主に帰属する四半期純利益も増益となりました。当第2四半期の業績を踏まえ、中間配当については直近の予想から4円増配して1株当たり15円に、また、通期業績予想の修正に伴い、期末配当を直近の予想から2円増配して1株当たり16円に修正いたしました。これにより、年間配当金は1株当たり31円となり、連結配当性向は36.1%となる予定です。

株主の皆様には、引き続きご支援を賜りますようお願い申し上げます。



2022年9月
代表取締役社長 河野 誠

次世代に向けたソリューションの提供のために

KITZ Group イノベーションセンターが完成

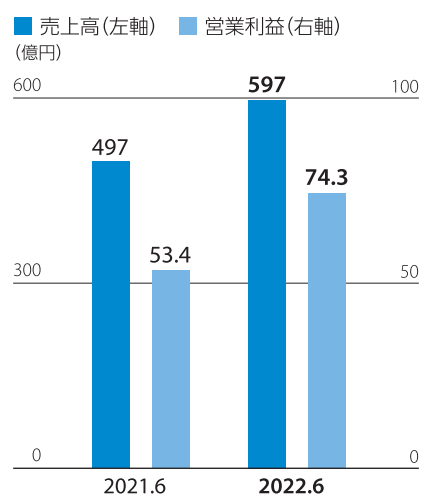
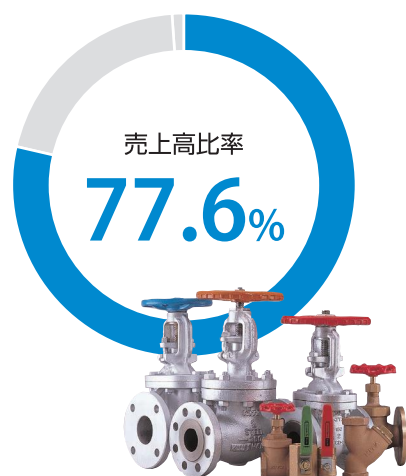
創業70周年記念事業の一環として、茅野工場敷地内に建設していた「KITZ Group イノベーションセンター」が完成しました。本施設は、キッツグループ発展の基盤となる人財育成、クリエイティブで革新的な技術開発及び社内外への情報発信機能の充実に図る場として活用するとともに、1981年に設立され、長きにわたり社員教育及びパルプ業界関係者の人財育成に寄与してきた「キッツ研修センター」の後継施設として社内外の幅広い研修ニーズに応えてまいります。また、災害発生時には、地域の方々の避難施設としても提供することとしています。



当第2四半期の概要

セグメント別売上高・営業利益

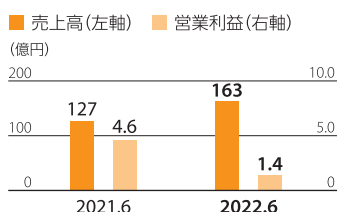
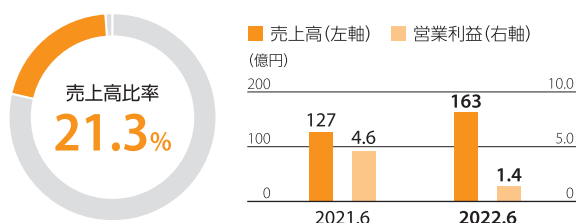
● バルブ事業



半導体製造設備向けが国内・海外とも増収となったほか、国内市場では価格改定効果が寄与し、海外市場では、為替の影響のほか米州向け及びアセアン向けが増収となったこと等から、前年同期比20.0%増の597億9百万円となりました。営業利益は、原材料価格高騰を価格改定効果でカバーするとともに増収による増益もあり、前年同期比38.9%増の74億30百万円となりました。

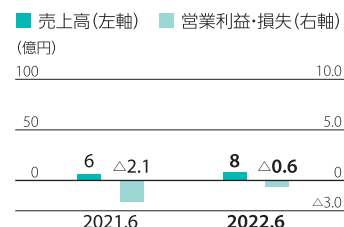
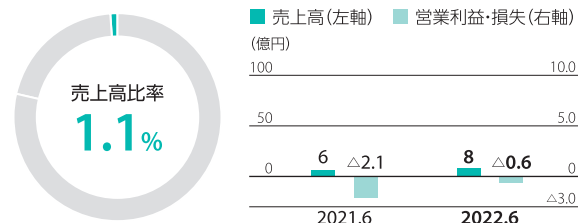
● 伸銅品事業

売価に影響を与える原材料相場の上昇に伴う販売価格の上昇と販売量の増加により、売上高は前年同期比28.3%増の163億52百万円となりました。営業利益は、相場上昇による減損の拡大やエネルギーコストの上昇等により、前年同期比68.6%減の1億44百万円となりました。



● その他

ホテル事業でまん延防止等重点措置の全面解除など行動制限が緩和されたことによる宿泊客の増加等により、売上高は前年同期比41.3%増の8億70百万円となりました。営業損益は、60百万円の営業損失(前年同期は2億10百万円の営業損失)となりました。



当期(2022年1月～12月)の経営計画

- 2022年12月期経営計画は、2022年8月4日に修正しています。

	(単位:百万円)	
	2021年12月期 実績	2022年12月期 経営計画
売上高	▶ 135,790	▶ 158,000
営業利益	▶ 8,990	▶ 11,300
経常利益	▶ 8,975	▶ 11,750
親会社株主に帰属する 当期純利益	▶ 4,954	▶ 7,700

	(単位:百万円)	
● セグメント別売上高	2021年12月期 実績	2022年12月期 経営計画
バルブ事業	▶ 106,754	▶ 123,500
伸銅品事業	▶ 27,366	▶ 32,500
その他	▶ 1,668	▶ 2,000
計	▶ 135,790	▶ 158,000
● セグメント別営業利益		
バルブ事業	▶ 12,088	▶ 14,900
伸銅品事業	▶ 665	▶ 500
その他	▶ △243	▶ 0
調整額	▶ △3,519	▶ △4,100
計	▶ 8,990	▶ 11,300

半導体分野への投資を決定 株式会社キッツマイクロフィルター 新工場を建設



新工場イメージ図

長期経営ビジョン及び第1期中期経営計画2024においてGrowth市場の一つに定めた、半導体材料(フィルター)市場の需要拡大に対応するため、グループ会社の株式会社キッツマイクロフィルターに新工場棟の建設及び生産設備への投資を行うことを決定しました。

キッツマイクロフィルターは、半導体をはじめとする幅広い産業分野に、高付加価値の中空糸膜と各種成型技術をベースにした流体分離製品を提供していますが、国内外で旺盛な半導体市場の成長に合わせた生産体制の拡充が急務となっています。量産化及び自動化生産設備を導入して生産能力の増強を図り、十分な供給体制を整備してまいります。

水資源の有効利用のための水処理装置を開発

グループ各社の水関連技術や製品・サービスを総合的に活用し、お客様にソリューションを提案する活動「KITZ Water Solutions(キッツ ウォーター ソリューションズ)」の成果として、地下水を飲料用レベルに浄化する水処理装置を開発、KITZ Group イノベーションセンター(本紙P1参照)における実証により、その性能を確認することができました。

本装置は、グループ会社の株式会社清水合金製作所が持つ膜ろ過浄水装置と東洋バルブ株式会社が持つ水処理装置の技術を活用しています。災害時に水道が停止した場合でも、自家発電設備と組み合わせることで、地下水や工業用水を安心・安全な水として供給することが可能となります。水資源の有効利用のため本装置を広く提供してまいります。



浄水技術を活かし諏訪湖の水をビール造りに適した水質にろ過



業務用浄水器「オアシス」(左)とクラフトビール(右)



「KITZ Water Solutions」(上記記事参照)では、キッツマイクロフィルターが持つ浄水技術を活用して諏訪湖の水をろ過し、ビール醸造に最適な水質へと磨き上げることに成功しました。

6月25日に諏訪地域で開催された「スワコエイトピークス ミドルトライアスロン大会2022」では、自然保護の啓発キャンペーンとして諏訪湖の水でクラフトビールを造ることが企画され、キッツが湖水のろ過を担当しました。キッツマイクロフィルターの浄水器「オアシス」を中心とする装置により、諏訪湖の水が飲料水に要求される水質基準をクリア。ハヶ岳山麓で栽培されたホップとともに醸造されたクラフトビールは極上の仕上がりとなり、大会実行委員会より参加者に配られました。

山梨県とグリーン水素基本合意書を締結

4月14日、山梨県甲府市の米倉山電力貯蔵技術研究サイトのP2G*システムで製造されたグリーン水素を、長坂工場内の水素ステーションで利用することについて、山梨県と基本合意書を締結しました。

P2Gシステムは、再生可能エネルギー等由来の電力を活用し、水を電気分解させ水素を製造する技術であり、再生可能エネルギーの導入拡大と温室効果ガスの削減において世界的に期待されています。

今回の締結により、工場内で使用する燃料電池フォークリフト等の燃料として、グリーン水素を利用する社会実証を行います。CO₂フリー水素の活用を通して、2050年までに温暖化ガスを実質ゼロにするカーボンニュートラル社会の実現に向けて取り組んでまいります。

*Power to Gasの略



KITZ Group Engagement Forum 2022を開催

長期経営ビジョンの社内への浸透と、グループ丸となった目標達成に向けて、「KITZ Group Engagement Forum 2022」を開催しています。社長をはじめとする経営陣とキッツ及びグループ会社の社員が、長期経営ビジョンについて対話形式で議論を行っています。

社員が経営陣からのメッセージを直接受け取り自分ごと化したり、経営陣が社員の意見を直接聞いて経営に反映させたりするなど、対話を通じて共通の価値観を醸成する機会となっています。



株主優待のご案内

キッツは、株主の皆様のご支援に対する感謝の気持ちを込めて、株主優待を実施しています(2021年12月31日時点で100株以上保有されている株主様が対象)。

100株以上

①「株主様ご優待案内」冊子(グループ会社優待券)

キッツグループの商品・サービスより、ホテル及び家庭用浄水器の各種優待券をご用意しています。

また、キッツが社会貢献活動の一環として、その活動を支援している北澤美術館の招待券を進呈いたします。



株式会社キッツマイクロフィルタ
家庭用浄水器「ピュリフリー」

1,000株以上

①「株主様ご優待案内」冊子 (グループ会社優待券)

上記に同じ

② オリジナルクオカード



- 1,000株以上 1,000円券 1枚
- 2,000株以上 2,000円券 1枚
- 3,000株以上 3,000円券 1枚

③ 以下の優待品より1点を選択

- 北澤美術館 ガラス工芸品カレンダー(大判サイズ)
- 北澤美術館 日本画カレンダー(大判サイズ)
- 北澤美術館 日本画カレンダー(卓上サイズ)
- 北澤美術館への寄付 1,200円
- 日本赤十字社への寄付 1,200円

● 長期保有株主優待

12月31日時点で、5年以上かつ1,000株以上保有されている株主様につきましては、①～③の優待に加え、③の優待品よりさらに1点(計2点)をお選びいただけます。

● 新規株主様への優待

6月30日までに、新規で1,000株以上保有された株主様に、北澤美術館 ガラス工芸品カレンダー1部をお送りいたします。



2022年版北澤美術館
ガラス工芸品カレンダー



公益財団法人北澤美術館は、キッツの創業者 北澤利男が設立した美術館であり、キッツは、社会貢献活動の一環としてその活動を支援しています。北澤美術館は、19世紀末フランスのアル・ヌーヴォー期の世界第一級のガラス工芸品と現代日本画を中心に優れた作品を常時展示しており、国内外から高く評価されています。

株主優待制度による寄付のご報告

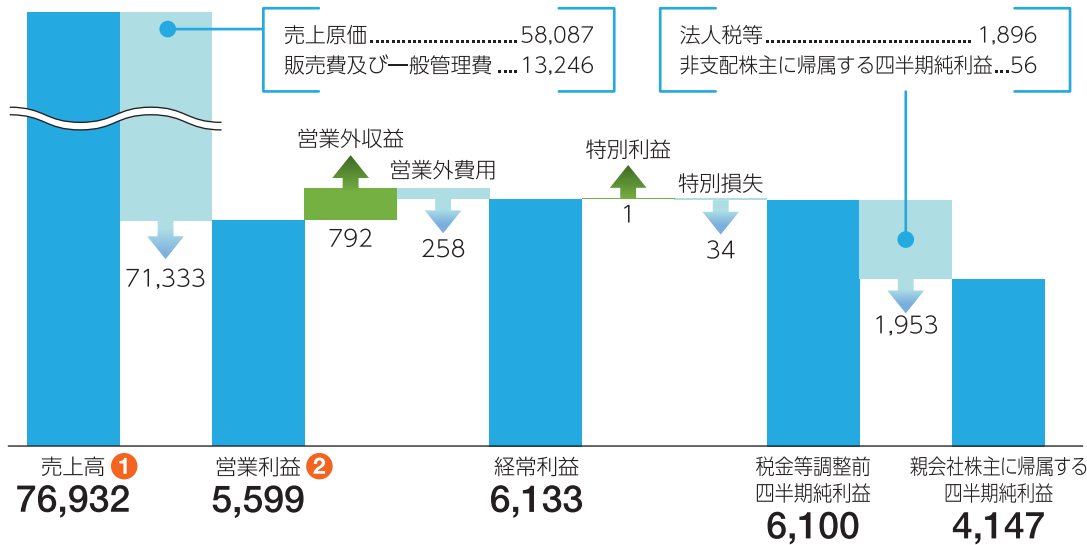
2020年12月31日時点の株主様を対象とした株主優待において、「日本赤十字社への寄付」をお選びいただいた株主様からの義援金につきましては、下記の通り寄付いたしましたのでご報告申し上げます。

●寄付金額:502,000円 ●寄付日:2021年12月24日

連結損益計算書の概要

当第2四半期 (2022年1月1日～6月30日)

(単位：百万円)



Point ①

売上高

バルブ事業における価格改定効果、半導体製造設備向けの好況、為替の影響及び米州・アセアン向けを中心とした増収により、また、伸銅品事業における原材料相場の上昇に伴う販売価格の上昇及び販売量の増加により、前年同期比21.9%増の769億32百万円となりました。

Point ②

営業利益

景気回復に伴う国内及び海外市場における増収により、前年同期比43.5%増の55億99百万円となりました。

Point ③

総資産

棚卸資産や売上債権、有形固定資産の増加等により、前連結会計年度末に比べ82億57百万円増加しました。

Point ④

負債

未払法人税等及び長期借入金の減少等はありませんでしたが、仕入債務及び短期借入金の増加等により、前連結会計年度末に比べ2億3百万円増加しました。

Point ⑤

純資産

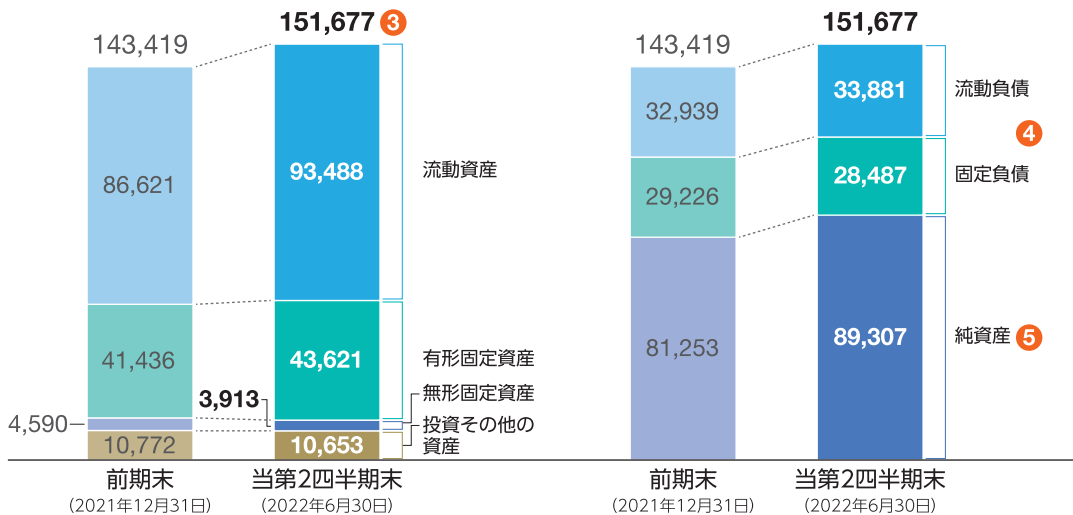
配当金の支払いはありませんでしたが、親会社株主に帰属する四半期純利益41億47百万円の計上や為替換算調整勘定の増加等により、前連結会計年度末に比べ80億54百万円増加しました。

連結貸借対照表の概要

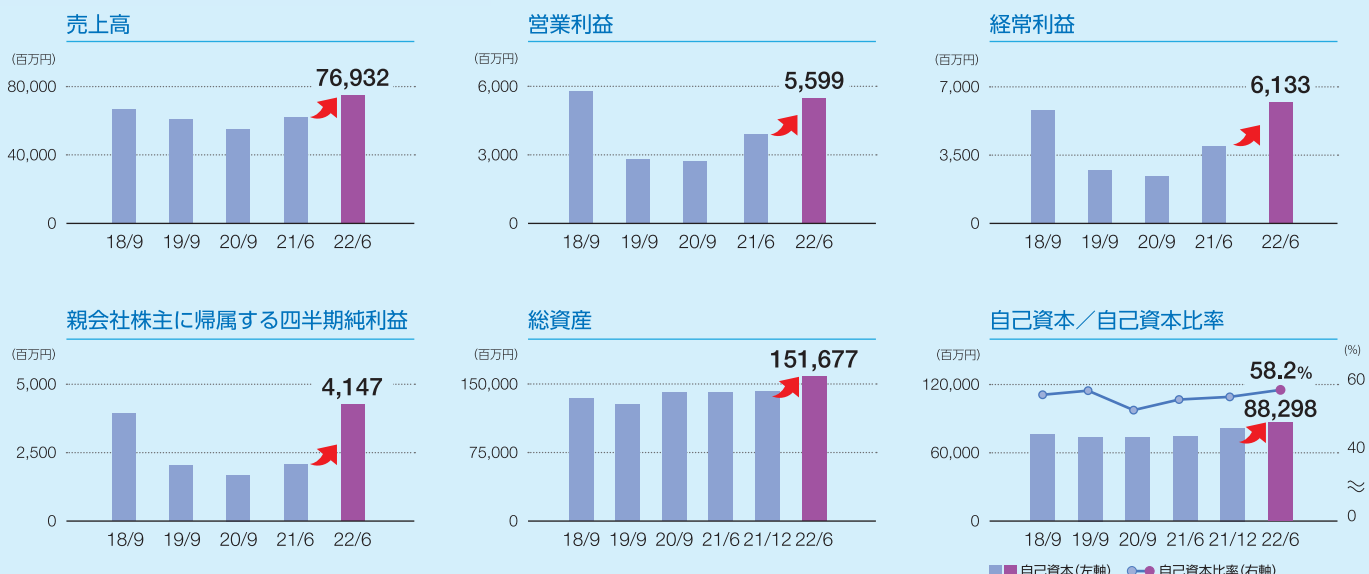
資産の部

負債・純資産の部

(単位：百万円)



主要連結財務指標の推移



・本株主通信中の記載金額は、表示単位未満を切り捨てて表示しております。
・決算期変更の変則期間である2020年12月期は9カ月決算。

株式の状況

● 発行可能株式総数 400,000,000株

● 発行済株式の総数 90,118,174株

(注) 上記の発行済株式の総数には、当社が2022年6月30日に保有する自己株式 278,337株を含めておりません。

● 株主数 12,774名

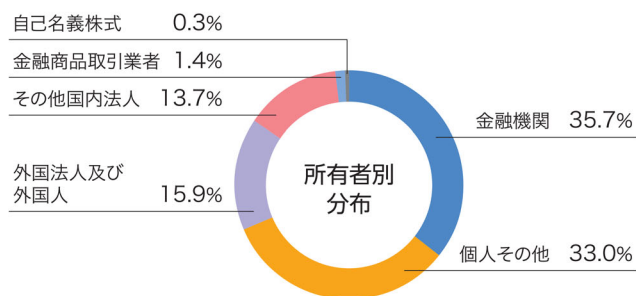
● 大株主(上位10位)

株主名	当社への出資状況 持株数(千株) 持株比率(%)	
日本マスタートラスト信託銀行株式会社	9,731	10.80
北沢会持株会	4,815	5.34
日本生命保険相互会社	4,303	4.78
株式会社日本カストディ銀行	4,130	4.58
住友生命保険相互会社	3,419	3.79
公益財団法人北澤育英会	3,411	3.79
キッツ取引先持株会	3,268	3.63
株式会社三井住友銀行	2,553	2.83
キッツ従業員持株会	2,142	2.38
セコム損害保険株式会社	1,702	1.89

(注) 1. 当社は、2022年6月30日現在、自己株式278千株を保有しております。また、持株比率は、発行済株式の総数から自己株式を除いて計算しております。なお、当社は、「役員報酬BIP信託」を採用しており、日本マスタートラスト信託銀行株式会社が当社株式418千株を保有しておりますが、当該自己株式には含めておりません。

2. 上記の持株数には、信託業務に係る株式を次の通り含んでおります。
日本マスタートラスト信託銀行株式会社 9,731千株
株式会社日本カストディ銀行 4,130千株

3. 住友生命保険相互会社の持株数には、変額口800株及び特別勘定8千株を含んでおります。



株主メモ

事業年度 1月1日～12月31日
 定時株主総会 3月
 基準日 定時株主総会議決権 12月31日
 期末配当金 12月31日
 中間配当金 6月30日
 その他必要ある場合は、あらかじめ公告いたします。

公告掲載方法 電子公告
 公告掲載URL (<https://www.kitz.co.jp/>)
 ただし、やむを得ない事由により電子公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。

単元株式数 100株
 株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行株式会社
 特別口座の口座管理機関 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
 同連絡先 東京都府中市日鋼町1-1
 郵送先 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号
 電話 0120-232-711 (通話料無料)

(ご注意)

- 株主様の住所変更、買取請求その他各種手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、左記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問い合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店でもお取り扱いいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

中間配当金のお支払いについて

2022年8月4日開催の当社取締役会におきまして、第109期の中間配当金について、以下の通り決議されております。

中間配当金:1株当たり 金15円

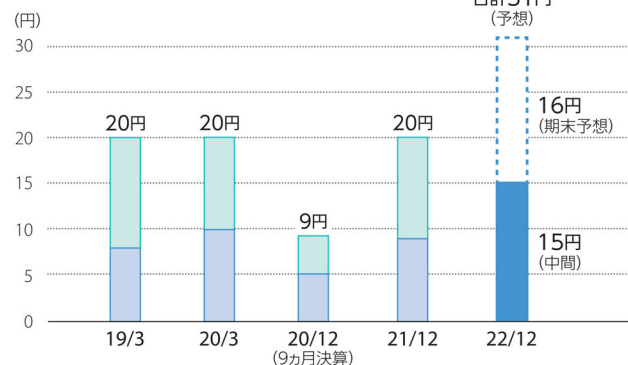
効力発生日ならびに支払開始日:2022年9月16日(金)

同封の「第109期中間配当金領収書」により、払渡しの期間(2022年9月16日～2022年10月17日)内に最寄りのゆうちょ銀行または郵便局でお受け取りください。また、銀行等口座振込をご指定の方には、「第109期中間配当金計算書」及び「配当金振込先のご確認について」の記載をご確認いただけますよう、お願い申し上げます。

配当方針

キッツは、配当金を、株主の皆様への利益還元として経営上の重要課題と位置づけしており、連結配当性向については、親会社株主に帰属する当期純利益の35%前後を望ましい水準としております。なお、自己株式の取得につきましては、中長期の成長のための必要投資額等を考慮した上で、株式市場及び当社株価の動向、手元資金の状況等を勘案し、適宜検討いたします。今後も、株主様への利益還元をより一層充実させてまいります。

1株当たりの年間配当金



会社概要 (2022年6月30日現在)

商号 株式会社キッツ
 本社 千葉県千葉市美浜区中瀬一丁目10番1
 TEL (043)299-0111(大代表)
 代表者 代表取締役社長 河野 誠
 資本金 21,207,084,670円
 設立年月日 1951年1月26日
 従業員数 (単体)1,423名 (連結)5,218名

ウェブサイトのご案内

企業情報のほか、決算情報や財務データ等を掲載しています。



<https://www.kitz.co.jp/>

